

2. 新興国進出時の知財リスク及び対応策の研究

日本企業による新興国進出が増加傾向にあるところ、新興国進出には特有のリスクがあるにもかかわらず十分な対策が採られておらず、トラブルも相次いでいる。そこで我々は、新興国進出時の知財リスクを検討し、それに対して日本企業が採るべき対応策及び行政が採るべき支援策を提言することとした。まず我々は、中国、タイ及びインドを例に、各国の知財戦略及び法制度並びに知財環境を調査することにより、日本企業の新興国進出時における知財リスクを洗い出した。その上で、日本企業が採るべき知財リスクへの対応を類型別に検討するとともに、行政に求められる効果的な支援策を提言した。新興国には各国で固有の知財リスクがあるところ、それぞれの国における現地情報、特許情報等の情報を収集し、分析することが最も重要なリスク対応策である。行政には、中小企業でも知財リスクマネジメントが容易に行えるよう、新興国各国における知財情報の提供及び新興国事情に精通した人材の育成支援が求められる。

<担当講師>

渡部 俊也 東京大学 政策ビジョン研究センター 教授

<グループメンバー（塾生）>

岩井 久美子 曾我法律事務所 弁護士

新熊 聡 国広総合法律事務所 弁護士

野村 卓哉 株式会社リコー

松本 隆彦 特許庁 特許審査第一部 自然資源 審査官

山本 泰史 中村合同特許法律事務所 弁理士